



令和3年2月13日

**関東地区大学準硬式野球選手権大会における
新型コロナウイルス対策ガイドラインについて**

関東地区大学準硬式野球連盟

1. 基本方針

選手並びに大会関係者の健康を最優先として、下記の通り新型コロナウイルス感染の予防策を徹底することとする。

2. 大会開催における前提

①試合は健康が確認された選手だけが出場できる。

チーム代表者は試合前に各選手の健康状態を確認し、健康不安者を出場させてはならない。また、健康状態管理は連盟の定めた方式にて行う。

健康が確認されていない場合の例

- ・発熱、咳、倦怠感などの症状がある者および味覚嗅覚を感じない者。
- ・大会開催日前の14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者。
- ・大会開催日前の14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

②新型コロナ接触確認アプリ「COCOA」を利用すること

このアプリをインストールし、試合実施時には2週間以上の接触有無が確認できる状態にしておくこと。また、本項目も連盟の定めた方式にて確認を行う。

③感染者が発生した場合は大学と関東連盟に報告をすること（連盟事務所 03-3401-0824）

大会前および大会期間中にチーム内において感染者が出た場合は、状況を判断し、当該チームの出場停止および大会を中止とする可能性がある。

また、大会参加者に感染が判明した場合は、参加者名簿を関係機関に公表する可能性があることを周知する。万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷、非難することが絶対に無いよう配慮すること。

④スタンドでの応援、観戦

マスク着用、手洗い、うがい、アルコール消毒などの基本的な対策の他、各球場で定められた感染対策に従ったうえでスタンドでの応援、観戦をする。

観客席が「密」にならないように一定の距離を保って観戦し、マスク着用の上、大声の代わりに、拍手で応援をすること。

感染対策に従わない場合、退場していただく可能性があるため注意すること。

無観客試合と定められている球場においては、スタンドでの応援を立場問わず全面禁止とすること。（無観客試合の球場は事前に連盟から提示する。）

3. 予防策

【活動前後】

- ・ いわゆる 3 密にならないように工夫すること。
- ・ 手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用などの咳エチケットの励行。
- ・ 目・鼻・口を極力触らない。
- ・ 公共交通機関を利用する場合、必ずマスクを着用し、つり革などによる接触感染に十分気をつけること。また、小人数での行動を取り、極力会話を避けること。
- ・ ロッカー・シャワールームなどを利用する場合は、こまめな換気を行い、1 回に利用する人数を 10 名程度までにすること。
- ・ ベンチの消毒は使用したチームが責任をもって行うこと。

【試合中】

- ・ 試合前、試合後の整列は、礼のみとする。
- ・ 試合中も、出場選手以外はベンチでのマスク着用を必須とする。
- ・ ベンチ内では一定間隔を保ち、大きな声は出さないこと。
- ・ マウンド上で集まるときは、グラブを口に当てること。
- ・ タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避けること。
- ・ 試合当日、各チームで消毒液の用意をすること。
- ・ チーム道具で共有せざるを得ない物は、各チームで消毒を徹底すること。
- ・ 肌が触れ合うハイタッチ・握手などの接触は避けること。
- ・ ミーティングはフィジカルディスタンスを保ち、原則屋外で手短に行うこと。

関東準硬式野球連盟は、感染予防および拡散防止のために最大限の努力をし、関東地区大学準硬式野球選手権大会に向けて準備を進めてまいります。